

【報道資料】



山形大学
Yamagata University



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



学習院女子大学
Gakushuin Women's College



令和7年8月14日

奈良県田原本町

学術変革領域研究(A)「暴れる気候」と人類の過去・現在・未来(代表:中川毅)

唐古・鍵遺跡第129次調査で出土した鉄製品について

科学研究費補助金事業(課題番号: 24H02188・24H02191)に基づく、田原本町と山形大学との共同研究プロジェクト、「唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクト」に関連し、令和7年2月から3月にかけて、唐古・鍵遺跡第129次調査を実施しました。第129次調査で検出された井戸の底から、弥生時代中期末あるいは後期初頭(紀元1世紀前後)の鑄造鉄斧とみられる鉄製品が出土しました。この鉄製品は、唐古・鍵遺跡で出土した鉄製品(今回発表資料を含めて計6点)で最も古い物となるだけでなく、鑄造鉄斧とすれば奈良県初の出土例となります。

この鉄製品について、下記のとおり説明会を行いますので、ぜひお越しください。

記

- 説明会日時 令和7年8月21日(木) 午前10時00分～
- 説明会会場 田原本青垣生涯学習センター2階パソコン学習室

●唐古・鍵遺跡第129次調査の概要

- 調査期間 令和7年2月20日(木)～3月14日(金)
- 調査場所 田原本町大字鍵169番
- 調査面積 60㎡(弥生時代遺構の調査は20㎡)
- 検出した主な遺構 弥生時代中期中葉 溝1条
後期 溝2条、井戸1基
- 出土した主な遺物 弥生土器・石器・木製品・鉄製品・ガラス玉

この件に関するお問い合わせ先:

田原本町埋蔵文化財センター(教育委員会事務局文化振興課)

TEL 0744-32-6008